

ドロップ・サイト・デイリー、10月23日：銃撃事件を受け、ネタニヤフ首相がヨルダン川西岸地区の全面封鎖を命じる；クシュナー氏の20億ドルの裏金に関する衝撃的な報道；ブレント原油が114ドルに達する

脇浜義明訳 *脚注は訳注

イラン

***ブレント原油価格が114ドルに高騰、トランプはイランが原油価格引き上げ犯人と批判：**トランプ大統領は、11月の中間選挙前に、イランが意図的に世界の原油価格を上げようとしていると非難した。

・トランプは自分のSNS「Truth Social」に、「イランは米国の中間選挙前に原油価格を引き上げようとするやうことをやっている」と書いた。「彼らは攻撃や機雷の設置などその他いろいろなことをでっち上げている」と主張し、イランの脅しにもかかわらずホルムズ海峡を通過している原油の量は、戦前よりも多いと指摘した。

・ケプラー社のデータによれば、イランを除く中東のペルシャ湾とオマーン湾からの原油・石油製品の輸出量は、7日間の輸送平均で、日量約1500万バレルで、戦前の水準日量2050万バレルより少ないが、ケプラー社は過去2週間分のデータは今後上方修正するかもしれないと言っている。

・ブレント原油価格は、昨夜114.72ドルの高値を付けた。米国内のレギュラーガソリンの平均価格は1ガロンあたり4.284ドルで、先週から5セント下がった。ディーゼル燃料の平均価格は1ガロンあたり6.276ドルで、10セントの上昇。

***欧州、冬のエネルギー危機に直面と、IEA 事務局長警告：**国際エネルギー機関 (IEA) のファティ・ビロル事務局長は、欧州が歴史的に低い天然ガス備蓄で冬を迎えようとしているとし、これ以上米国のイラン戦争で供給途絶が続けば、欧州は耐えられなくなるだろうと警告した。

・EUの天然ガス備蓄量は72%で、通常は冬を迎える前の90%より少ない。この不足分は1000万～1200万世帯のエネルギー需要量に相当する。欧州はこれまで液化天然ガスの10%をホルムズ海峡経由で輸入していたが、ホルムズ海峡で船舶攻撃があつて、輸送に支障が生じている。

・ビロル事務局長は「今年から来年にかけての冬は欧州にとって厳しいものになるだろう」とアル・ジャジーラに語り、たとえすぐに停戦になったとしても数か月間はエネルギー価格高騰が続くであろうと付言した。また彼は、ウクライナのロシアの精油所攻撃のために、ディーゼル燃料不足が生じていると言った。

・ビロル事務局長は、「私はこれまで、エネルギー分野で、地政学の影がこんなに長く影響するのを見たことがない」とも述べた。「エネルギーは今やビジネスではなく、政治的「梃子」となっている」と言った。

***調査により、米国のイスラエル防衛に3年間で110億ドル支出：**研究者スティーブン・セムラーの調査によると、2023年10月から2026年6月までの間に、米国はイスラエル領土を防衛するために、推定609発の迎撃ミサイルを発射し、そのために約110億ドルの税金が使われた。この試算には、中東地域の駐留する米軍を防衛するために発射した迎撃ミサイルの費用は含まれていない。

・「これは共生関係でなく寄生関係だ」と、イランのアッバス・アラグチ外相はこの調査に関して、Xに投稿した。

***UAE、タンカーからの石油流出に対し、ウンム・アル・カイワン海岸を閉鎖：**アラブ首長国連邦 (UAE) は、タンカーからの流出石油が海岸線を汚染したので、国内のすべての海岸と沿岸地域を一時閉鎖した。

・石油流出は、ホルムズ海峡とその周辺で、イランの商船やタンカー攻撃が増えている中で発生した。UAE当局は、この流出と戦争との関連については言及していない。他にも、イランのケシュム島やヘンガム島近海、オマーンの海岸線等でも石油流出が確認されている。これらは、イランか米国の船舶攻撃が原因である¹。

***米国、海上封鎖によって、100日間でイランの原油輸出250億ドル分を阻止したと主張：**米中央軍 (CENTCOM) はXへの投稿で、100日前に再開したイランへの海上封鎖で、少なくとも250億ドル相当のイラン産

¹ 10月19日、イスラエル軍機と空中給油機など数十機がイラン攻撃のデモンストレーション飛行を行い、そのことは米国も承認していた。イスラエルはイランの発砲を期待し、新たな攻撃の口実にできと思っていたが、イランの発砲はなかった。

原油の輸出を阻止したと述べた。米国が「鋼鉄の壁」と呼ぶこの封鎖によって、「米軍が許可した人総支援物資」を除き、海路を通じたイランの輸出入はすべて阻止したと、米中央軍は主張した。

パレスチナ

*** ガザ回廊各地へのイスラエルの停戦違反攻撃で、パレスチナ人3人死亡、数人が負傷：**Wafa 通信によると、23日、ガザ市西部のアンナスル地区をイスラエル軍が空爆、パレスチナ人2人が死亡、数人が負傷した。

・ガザ回廊南部のハーン・ユニス西のアル・クッパ通りの自転車に乗っているパレスチナ人をイスラエル軍がドローン攻撃して殺害した。

*** ヘブロンで銃撃事件があった後、ネタニヤフ首相は西岸地区の全面封鎖を指示：**23日、西岸地区ヘブロン近郊のイスラエル軍検問所で2人の武装パレスチナ人がイスラエル兵2人を殺害、3人を負傷させ、その後2人はイスラエル軍によって射殺された。銃撃戦は20分以上続いた。

・この事件後、イスラエル軍はヘブロン県全域に大規模な軍事封鎖を行い、すべての出入口を閉鎖し、パレスチナ人の移動を禁止した。Wafa 通信によると、イスラエル軍部隊は住宅を搜索し、少なくとも5人のパレスチナ人を拘束した。ヘブロン南西部のドゥラではイスラエル軍はパレスチナ人運転手の胸を撃ち、重傷を負わせ、ムスリム信者に対しイブラヒム・モスクを閉鎖した。

・23日のその後、ネタニヤフ首相はヘブロンへ行き、軍と治安部隊に対し、「ヘブロン市を即刻封鎖せよ」と指示し、西岸地区全域の「全面的ロックダウン」に取り掛かるように命じた。

・ネタニヤフ首相は、カッツ国防相とともに、西岸地区において、1967年の6日戦争以来実施されたことがないような大規模な作戦を検討していると付言した。

・ネタニヤフ首相は、以前西岸地区のある難民キャンプで用いた「成功した攻撃的モデル」を西岸地区全域に適用する計画を発表した。このモデルは、イスラエル軍が数万人の住民を立ち退かせ、広範にわたって建物を解体したもので、人権団体が「人道に対する罪」と非難したものだ。

*** 入植者とイスラエル軍、西岸地区各地で暴れる：**

・ラマッラーでは、Wafa によると、23日、ブルカ南のアル・キブラ地区で、入植者が数十本のオリーブの木を焼き払ったり、切り倒したりした。シンジルでは、オリーブ収穫をしている農民を入植者が襲撃し、実がなっている枝をこれ見よがしに折るなどの被害を与えた。

・ナブルスでは、イスラエル軍がサレムトベイト・フリクにある農地に向けて催涙弾を発射して、火災を発生させた。ブリンでは、イスラエル軍の警護を受けた入植者がパレスチナ人の住宅とその近辺に放火しようとした。

・ジェニンでは、イスラエル軍はヒルベット・スルージの住民に、住宅や農業用施設から1週間以内に立ち去るよう命じた。この地域には、7軒以上の住宅と10軒の家畜小屋がある。住民らは1950年からそこに居住し、1960年に発行された土地の権利書を持っている。

・東エルサレムでは、イスラエル軍は、アル・アクサ・モスクの説教者のハレド・アブ・ジュマー師を逮捕した。師はモスクで金曜礼拝の説教を行い、礼拝を主導した直後に逮捕された。

*** 入植者ら、シリーン・アブ・アクレ記念碑を破壊：**武装した入植者らは、ジェニン市南方のアッジャ村の入口附近に設置されていたパレスチナ系アメリカ人ジャーナリストのシリーン・アブ・アクレの記念碑を破壊した。この記念碑は、2022年5月11日に、イスラエル軍のジェニン難民キャンプ攻撃を取材していたとき、イスラエル軍によって頭部を撃たれて死亡したアル・ジャジーラのジャーナリスト、シリーン・アブ・アクレを追悼するために、2022年に建立された。

イエメン

*** アンサール・アッラーは、以前サウジアラビアが対話に向けた5日間の停戦案を拒否したと主張：**アンサール・アッラーの幹部、モハンメド・アル・ブハティは、7月のエスカレーション初期段階にサウジアラビアがオマーンに仲介を求めたにせよ、直接対話に向けた5日間の停戦案を受け入れなかったと述べた。アル・ブハティはニュース・サイト『ザ・グ

レイゾーン』のマックス・ブルメンサールのインタビューで、アンサール・アッラーはこの停戦案に同意していたと言った。

- ・アル・ブハティは、アンサール・アッラーの部隊が包囲下にある南西部の主要都市タイズを見下ろすハーン山を制圧したと主張し、もし将来和平交渉をするなら、戦争を終わらせ、双方が行っている封鎖を解除することが必要だと言った。

- ・さらに、彼は、サウジアラビア王族に対し、ムハンマド・ビン・サルマン皇太子を退任させることを呼びかけ、この皇太子の統治は王国そのものを脅かすことになる」と述べた。「我々は、王族内部で…ビン・サルマンを退陣させる動きがあるならば、それを支持する」と述べ、サウジアラビアの国民と反対勢力に行動を促した。

***サウジアラビア主導の連合軍はイエメン全域を空爆、サウジ軍はアンサール・アッラーのミサイルを迎撃：イエメン**のサアダ、ホデイダ、アル・ジャウフ、アムラン、タイズの各県に対し、少なくとも18回の空爆があった。

- ・サウジアラビア主導の連合軍のトルキ・アル・マリキ報道官は、サウジアラビアの防空部隊が、アンサール・アッラーがサウジ首都リヤドと南西部のハーミス・ムシャイトに向けて発射した弾道ミサイルを迎撃・破壊したと言った。

レバノン

***イスラエルの停戦違反の南レバノンへの空爆と砲撃が続く：**レバノン国営通信によると、23日、イスラエル軍機がナバティエ地区のアリ・アッターヘル丘陵付近を空爆し、ザウタル・アッシャルキア郊外に向かって断続的に砲撃した。

- ・マルジャユーン地区では、イスラエル軍がカンタラの町の森林に放火したと報じられている。

米国のニュース

***ジャレッド・クシュナー、湾岸諸国から20億ドルの「闇資金」を受け取った：**調査報道記者マシュー・コールの新著書によると、トランプの娘婿で、米政府の特使のジャレッド・クシュナーが、UAEとサウジアラビアの政府高官らが用意した裏金20億ドルを受け取っていた。コールは、ロシアの諜報機関がクシュナーの 아이폰に侵入したことからこの事柄の発覚が始まったと書いている。コールの報告によれば、オランダの諜報機関がロシアの工作員を拘束してこちら側に寝返りさせ、クシュナーの端末にアクセスできるようになった。オランダの諜報機関がクシュナーの端末をリアルタイムで観察したところ、巨額の資金が不審な形で移動しているのが確認された。

- ・コールによると、UAEのムハンマド・ビン・ザーイド首長とサウジアラビアのムハンマド・ビン・サルマン皇太子は、第一期のトランプ政権のとき、米国の外交政策に影響を及ぼそうと画策して、クシュナーに資金を提供した。

- ・この画策にはイスラエルのネタニヤフ首相も関与しており、彼は2018年にクシュナーにイスラエルの中央銀行に口座を開設するように指示したという。また、ネタニヤフ首相は、その口座から資金を移動させるときには、事前に自分に連絡するように求めたと、コールは書いている。

- ・クシュナーはコールの報告を「断固として」否定し、22日に声明を発表し、コール報告を「虚偽」、「完全に常軌を逸している」と言った。クシュナーは弁護士を通じ、コールの著書の出版社のサイモン&シュスター社に対し法的措置を講じる意向を明らかにした。

- ・コールの著作『Princes and Thieves: Jared Kushner and Mohamed bin Zayed's Secret Plot to Remake the Middle East』は10月27日に発売される。

***ヘグセス国防長官、国防総省職員に、非公開情報を利用して、米軍の軍事行動予測に関する賭けを禁止指示と、CBS報道：**ピート・ヘグセス国防長官は、国防総省の職員に対して、機密情報か否かを問わず、非公開情報を用いて軍事行動の予測に賭けることを禁じた。この禁止指示は、長官が国防総省幹部と統合軍司令官宛てに送った10月20日付のメモをCBSが入手して報道したものである。メモでは、予測市場「ポリマーケット」や「カルシ」の名が挙げられており、違反すると行政処分のほかに連邦法や統一軍事司法法典に基づく刑事罰に問われる可能性がある」と警告している。

- ・この指示は、軍事関連の賭けに対する監視が強化されている中で出されたものだ。4月には、ベネズエラのマドゥロ大統領拘束作戦に関与した特殊部隊のガノン・ケン・ヴァン・ダイク陸軍曹長が逮捕された。彼は、トランプ大

統領の1月の発表の直後、「ポリマーケット」でマドゥロ大統領の退陣に関して3万3000ドル以上を賭け、40万9000ドル以上の利益を上げた。彼はニューヨークの連邦裁判所で無罪を主張した。

***郵便公社のサービス縮小で、中間選挙の郵便投票が無効になるケースが急増と、プロパブリカが報道：**プロパブリカの報道によると、郵便公社が地方部で郵便回収回数を1日2回から1回に減らした郡では、到着が遅れたために無効となった投票用紙の割合が、2022年の選挙に比べて2〜3倍増加した。例えばワシントン州の11の地方郡では、2022年には約600票だった到着遅延による無効票が、今年は2000票近くとなった。

***裁判官、国土安全保障省の非市民投票疑惑調査を制限：**アラセリ・マルティネス・オルギン連邦地方裁判所判事は、国土安全保障が進めている非市民による投票があるという強引な調査の一部に停止命令を出した。この命令により、国土安全保障省は9つの州で、省が容疑者と思う米国人に対する職務質問や聞き取り調査が禁止された。「全米看護師連合」や「ヴォト・ラティーノ」などの原告団の「国土安全保障省の調査は投票権法に抵触する」という主張の勝利と判事が判断したのだ。判事は「干渉や威嚇のない安全な選挙における公益は、非国籍者による違法投票の防止という被告側の掲げる利益をはるかに上回る」と判決意見書に書いた。

***コーリー・レヴァンドフスキーの汚職疑惑を司法省が調査：**ウォールストリート・ジャーナル紙の報道によれば、司法省は、クリスティ・ノームが国土安全保障省長官をしていた当時、その最高顧問をしていたコーリー・レヴァンドフスキーが自分の政治的地位を利用して利益を得ていたかどうかを調査している。これは、国土安全保障省監察総監室からの通報を受けての調査である。調査対象の一部は契約をめぐる不正行為が含まれる。2期目のトランプ政権の司法省が、大統領に近い人物を調査していることが公けになった初めての事例である。捜査当局は、レヴァンドフスキーが不適切な契約発注に関与している証拠をつかんでいる。彼と彼の側近らは、10万ドルを超える支出のほぼすべてを承認し、また彼は無給ボランティアの「特別政府職員」という曖昧な立場で、自ら契約書に署名している。彼は代理人を通じて、不正行為を否定している。

***司法省、約20億ドルの医療詐欺事件で15人を起訴：**司法省は、立場の弱い患者を騙して、不必要な外科手術や偽の治療プログラムや、架空のホスピスケアを受けさせたことで、医療従事者6人を含む15人を起訴した。あるケースでは、2人の人物がテキサス州のいわゆる「ボディ・ブローカー」²に金を払ってホームレスや12ステップ（依存症回復プログラム）参加者を集めさせて、カリフォルニア州にある偽の「ソバー・リビング・ホーム（依存症回復のための共同生活住宅）」に入居させた。高額な保険に加入させられ、「荒廃した不法占拠住宅」に放置されたままにした。他の事例では、3人の人物が健康な高齢者に圧力をかけてホスピスケアを受けさせた。

***イーロン・マスク、さらに7600万ドルを「アメリカPAC」に寄付、中間選挙に対する寄付総額は4億4200万ドルを超えた：**イーロン・マスクは彼のスーパーPAC「アメリカPAC」に7600万ドルを新たに寄付した。これにより、マスクのこの選挙に対する寄付額総計は4億4200万ドルを超え、2026年における寄付額は、2024年の寄付額約2億900万ドルを大きく上回っている。彼のこれまでの寄付には、共和党上院の選挙活動部門への1億5800万ドルが含まれ、その資金は、民主党のジェームズ・タラリコと接戦しているテキサス州のケン・パクストン司法長官を支援するスーパーPACへ回された。他に、共和党下院のスーパーPAC、トランプを支持する「MAGA Inc」、アラスカ州の順位選択型投票制度の撤廃を目指す団体、共和党の個々の候補者など、多くの組織や個人に寄付をしている。しかし、マスクは今回の選挙では候補者と一緒に運動をしていない。共和党候補者の間では、マスクと一緒に「有害」になるという認識がうちうちに広がっているからだ。

***大手銀行の顧客口座に第三者AIエージェントが入り込んでいることが発見されたとアクシオスが報道：**米国の主要銀行が、顧客の口座内に許可されていないAIエージェントが入り込んでいることを発見していると、アクシオスが22日に報じている。多くの場合はAIエージェントまたはアシスタントが顧客の承認を得てログイン情報を使用するケースだが、その場合でもほとんどの銀行の規約違反になる。しかし、一部の銀行は、AIエージェントがコールセンターと連絡をとったり、ユーザーの指示とは無関係な行動をとったりしていることも発見している。

² 人間、遺体、人体組織の仲介業者。

***オハイオ州知事選、「民主党優勢」に：**無党派の選挙情報ニュースレター「サボトズ・クリスタル・ボール」は、オハイオ州知事選の情報を民主党候補エイミー・アクトン優勢へと修正した。その根拠として、共和党のヴィヴェック・ラマスワミ候補の「過激で必死な」攻撃的選挙攻撃を挙げている。その広告には、アクトンと疎遠になっている母親のドナ・アーサーが「彼女は過去の生い立ちについて嘘を言っている。テントで暮らしたと言っているが、嘘だ。彼女は生涯ずっと嘘をついてばかりだった」と中傷し、ラマスワミ陣営は400万ドルかけてこの下品な広告を作成したことを認めた。アクトンは幼少期の虐待や親のネグレクト、義理の父親からのレイプ、ホームレス状態の経験などを公けに語った。

***バージニア州上院議員、共謀・収賄・恐喝の容疑で起訴される：**バージニア州上院議員のルーズ・ルーカス（82歳）が22日、マリファナの流通、収賄、恐喝の容疑で逮捕され、彼女の娘のリサ・ルーカス・バークとテレサ・ルーカス・ラムと孫のライアン・アイケルバーガーなど6人も共同被告として起訴された。検察によると、ルーカス議員は少なくとも2019年以降、自分の政治的影響力を利用して、自分や6人の共同被告に利益をもたらす法案や規則を成立させ、マリファナ関連事業を州の法執行機関の捜査から守る計画を主導してきた。連邦捜査官は約6か月前にルーカス議員に彼女の事務所と彼女が共同経営する店舗「ザ・カンピナス・アウトレット」を捜索した。彼女に対する捜査はジョー・バイデンの大統領就任後に開始されたと報じられている。

その他の国際ニュース

***エジプトで編集長が裁判に、報道機関への弾圧激化：**22日、エジプトに残された数少ない独立系メディア「マダ・マスル」の編集長、リナ・アタラが裁判にかけられることになった。前日に、検察当局は彼女を6時間以上も尋問した。人権団体は、彼女の事例をエジプトにおける報道の自由に対する前例のない攻撃だとしている。

- ・最高国家検察庁はアタラを無許可でウェブサイトを開発・運営した容疑で起訴した。彼女は虚偽のニュースを流布した容疑で取り調べられたが、その容疑は起訴内容の中に含まれていない。

- ・彼女は21日夕、10万エジプトポンド（約1800ドル）の保釈金を払って釈放された。裁判は10月27日に始まる。有罪判決が出た場合、100万から300万エジプトポンド（約1万8000～5万4000ドル）の罰金が科される可能性があり、さらに「マダ・マスル」の閉鎖や機材没収を命ずる可能性もある。

- ・ドロップ・サイト・ニュースを含む世界の100以上の独立系メディアや市民社会団体が、アタラの起訴を非難する共同声明に署名した。声明は、これを「エジプトにおける独立系メディア全体、知識生産活動全体、市民社会空間そのものの未来を脅かす、前例のない弾圧エスカレーション」と評している。

- ・「ドロップ・サイト・ニュース」と「マダ・マスル」はこの2年間、いくつかの記事を共同で発表してきた。

***ヨルダンの教会で葬儀中に銃撃、6人死亡、28人負傷：**23日、ヨルダンで、ギリシャ正教の教会で葬儀が行われていたとき、武装集団が銃撃し、6人が死亡し、28人が負傷した。この教会は、キリスト教徒少数派が住んでいるカラクにある。アブドゥッラー2世国王はこの銃撃をテロ攻撃だと非難し、「銃弾によってヨルダン国民を分断できると錯覚している者たちには、我々の結束を打ち破ることはできない」と言った。

***スーダン軍、ダルフルとコルドファンを攻撃：**スーダン軍（SAF）がスーダン西部ダルフル州のエル・ファシールで、「即応支援部隊」（RSF）の拠点と民間インフラを攻撃した。この攻撃で、軍事装備や民間人の財産が破壊され、スルタン・アッディナール・モスクも損傷した。東ダルフルでは、スーダン軍の攻撃で、RSFの軍用車両、燃料輸送トラック、民間車両が破壊された。スーダン軍の攻撃は西コルドファンの都市ババササにも及んだ。

***南アフリカで群衆が移民を殴打して殺害：**南アフリカのダーバンで22日、反移民デモで約50人の暴徒が移民を襲撃し、殺害した。地元当局は被害者の国籍やデモの詳細を明らかにしていない。ダーバンでは数か月のわたり、外国人排除デモが繰り返されている。この数か月で数万人の移民が南アフリカを離れ、近年では最大規模の集団出国である。

***WHO、エボラ出血熱流行が「複雑化」と指摘、3カ国で感染確認：**世界保健機関（WHO）の高官は、エボラ出血熱の感染拡大が「より複雑な状況」になったと述べ、ナイジェリア、ケニア、コンゴ民主共和国の3カ国の感染例を挙げた。今回の流行は5月にコンゴ民主共和国で発生したことが発端で、コンゴ民主共和国では4000人以上が死亡している。

***シリア治安部隊がISIS(イスラム国)の疑いがある拠点を急襲、7人が死亡：**シリア当局によると、治安部隊がダマスカス近郊でISISの疑いがある拠点を急襲し、戦闘で治安部隊の隊員2人と、ISISのメンバーとみられる人物5人が死亡し

た。治安部隊は6人の容疑者を拘束し、武器や爆発物ベルトを押収した。シリア内務省は、ここ数週間で、ダマスカス郊外におけるISISの陰謀を阻止し、ホムスでISISの拠点を解体し、最高軍事司令官を無力化したと発表した。

***エチオピアの戦闘を逃れ数百人がケニアへ避難：**21日、ケニア国境に近いエチオピアの町で戦闘が発生、主として女性と子どもが多い数百人のエチオピア人がケニアに避難した。戦闘の引き金となった具体的な経緯は明らかにされていない。ケニア赤十字社は避難者の数や必要な支援について調査を進めている。赤十字の担当者は「避難民を受け入れるキャンプはまだ準備できていないが、早急に対応する」と述べた。戦闘が起きた場所は、政府軍と反政府軍連合の間の衝突が続いているティグレ地方から数百マイル離れている。

***チュニジアで拘留中の男性が死亡、抗議デモに警察が催涙ガス弾を使用：**チュニジアの首都チュニスで、麻薬取引容疑で拘留されていた男が死亡したことに対して抗議デモが起き、警察はデモを解散させようと催涙ガス弾を使用した。デモ参加者は警察に投石したり、道路封鎖したり、タイヤも燃やしたりした。死亡した男の家族は、彼が逮捕後警察の暴力で死亡したと主張している。地元メディアは、男が麻薬を飲み込んだために死亡したと報じている。

***チベットで大地震、16人が死亡：**ロイター通信によると、22日夜、中国チベット自治区北部でマグニチュード7の地震が発生、16人が死亡、76人が負傷した。震源地はチベット地区の人口が少ない標高の高い地域であった。この地震は2024年初め以降、中国で発生した最大規模の地震である。

***「イーロン・マスクがウクライナのスターリンク利用を再開させた」とトランプ：**トランプ大統領は22日、記者団に対し、スペースX社のイーロン・マスクCEOがウクライナに衛星通信サービス「スターリンク」の利用を再開させたことを明らかにした。これに先立ち、ウォールストリート・ジャーナル紙は、トランプがマスクに電話で、ウクライナによるスターリンク利用の制限を解除するように求めたと報じていた。ウクライナは、戦場での通信やドローン操作をこの衛星技術に依存している。

***選挙前夜、セルビアで学生主導の1万人以上の規模のデモ：**22日、セルビアのベオグラードで学生主導の抗議デモで数万人が集結、それに対しアレクサンドル・ヴチッチ大統領は別の集会をスポーツホールで開いた。学生が支持する候補者らで構成される特別なリーダーがいない運動体である「学生リスト」は、250議席の議会に対し、汚職に反対する250人の候補者を擁立した。彼らの目標は14年間以上も権力の座に座っていたヴチッチ大統領率いる「セルビア進歩党」を退陣させることである。この選挙は、政治的汚職に抗議する運動が約2年間展開された中で行われる³。

***ドイツ、ロシアのためにスパイ活動を行った容疑でウクライナ人を逮捕：**22日の当局発表によれば、ドイツは検察がロシアのためにスパイ活動を行ったと主張するウクライナ人男性を逮捕したと発表した。連邦検察庁によれば、男は少なくとも2025年7月からロシアの諜報機関と接触しており、軍事装備や兵器、NATOの防衛に関する人員や施設の情報の収集をしていたという。ドイツのメルツ首相は22日、記者団に対し、この逮捕は「驚くことではない」と言った。

³ 結果は「学生リスト」の大勝であった。「選管によると開票率96%超の段階で、学生リストが得票率52.5%と議席の過半数を確保。与党連合は39.3%にとどまった。」(時事通信のウェブサイト、時事ドットコムニュースの26日付記事

<https://www.jiji.com/jc/article?k=2026102600133&g=int> よりの引用) —HP管理者による注。